

平成 27 年 9 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

ACK グループ全社一斉防災訓練を実施

株式会社 ACK グループ（代表取締役社長：野崎秀則）は、社会インフラ整備に携わる企業として、地域の災害復旧にいち早く貢献することを目的に、毎年「防災の日」の前後に、**確実な事業継続**に資するための全社一斉防災訓練を実施しています。

今年、9月2日にグループ各社の全拠点で、最大規模の地震を想定した**全従業員参加（1,800人規模）による『全社一斉防災訓練』**を実施しました。

（1）事前準備

防災訓練に先立って、以下の4点を実施し、「事業継続計画（BCP）」を充実しました。

- ①発災直後の通信回線の輻輳対策として PHS を新たに準備
- ②仮設トイレの設置やゴミの分別ルールを明確化
- ③停電時に対する非常用電源を新たに準備
- ④負傷者救護の一環として、胸骨圧迫（心臓マッサージ）と AED（自動体外式除細動器）の使用訓練を実施

（2）防災訓練当日

今年の防災訓練は、「事業継続計画（BCP）」と**初動対応の手順を詳細に定めた「BCP 初動対応編」**に沿って、『**円滑な初動対応の実践**』をテーマに実施しました。

具体的には、当社グループの全国約 30 拠点到現地災害対策本部を設置し、「従業員の安否確認」「初動対応における役割分担の明確化」「事業復旧時期の判断」「従業員の帰宅可否の判断」「帰宅困難者への備蓄品の配布」など、初動対応の一連の流れについて訓練しました。

また、ACK グループ本社に災害対策本部を設置し、グループ各社の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練しました。

野崎秀則社長は「今回の防災訓練では、テーマとした『円滑な初動対応の実践』に一定の成果が得られた。今後は、今回の防災訓練の結果を元に幅広く課題を洗い出し、更に BCP を充実する必要がある。特に、非常用電源については、より実践的に使用できるよう改善を行う。」と災害対策本部会議で述べました。

当社グループは、今回の防災訓練で洗い出された課題に基づき、引き続き**確実な事業継続**に向けて行動してまいります。



災害対策委員会での対応状況



現地災害対策本部での対応状況



備蓄品の在庫確認



防災訓練に先立って行った AED の訓練状況

以上